

☆年間第29主日(10月18日)の聖書朗読☆※主任司祭からの解説があります。

第一朗読 (イザヤの預言 45章 1、4-6節)

主が油を注がれた人キュロスについて主はこう言われる。
わたしは彼の右の手を固く取り、国々を彼に従わせ、
王たちの武装を解かせる。
扉は彼の前に開かれ、どの城門も閉ざされることはない。
わたしの僕ヤコブのために、わたしの選んだイスラエルのために、
わたしはあなたの名を呼び、称号を与えたがあなたは知らなかった。
わたしが主、ほかにはいない。わたしをおいて神はない。
わたしはあなたに力を与えたがあなたは知らなかった。
日の昇るところから日の沈むところまで人々は知るようになる
わたしのほかは、むなしいものだ、と。
わたしが主、ほかにはいない。

答唱詩編 (詩編 96 3-13節)

遠く地のはてまで、すべてのものが神の救いを見た。

すべての国にその栄光を語り、すべての民に不思議なわざを伝えよ。
神は偉大、ほむべきかた、すべてを超えておそるべきかた。

諸国の民よ、神をほめ、その力と栄をほめたたえよ。
ささげものを携えて中庭に入り、神の名をほめたたえよ。

聖なるものが現れるとき、神を拝め。世界よ神をおそれよ。
神は来られる、世界をさばきに来られる。正義とまことをもって、
すべての民をさばかれる。

第二朗読（使徒パウロのテサロニケの教会への手紙 1章 1～5b 節）

パウロ、シルワノ、テモテから、父である神と主イエス・キリストとに結ばれているテサロニケの教会へ。恵みと平和が、あなたがたにあるように。わたしたちは、祈りの度に、あなたがたのことを思い起こして、あなたがた一同のことをいつも神に感謝しています。あなたがたが信仰によって働き、愛のために労苦し、また、わたしたちの主イエス・キリストに対する、希望を持って忍耐していることを、わたしたちは絶えず父である神の御前で心に留めているのです。神に愛されている兄弟たち、あなたがたが神から選ばれたことを、わたしたちは知っています。わたしたちの福音があなたがたに伝えられたのは、ただ言葉だけによらず、力と、聖霊と、強い確信とによったからです。

福音朗読（マタイによる福音書 22章 15-21 節）

そのとき、ファリサイ派の人々は出て行って、どのようにしてイエスの言葉じりをとらえて、罠にかけようかと相談した。そして、その弟子たちをヘロデ派の人々と一緒にイエスのところに遣わして尋ねさせた。「先生、わたしたちは、あなたが真実な方で、真理に基づいて神の道を教え、だれをもはばからない方であることを知っています。人々を分け隔てなさらないからです。ところで、どうお思いでしょうか、お教えてください。皇帝に税金を納めるのは、律法に適っているでしょうか、適っていないでしょうか。」イエスは彼らの悪意に気づいて言われた。「偽善者たち、なぜ、わたしを試そうとするのか。税金に納めるお金を見せなさい。」彼らがデナリオン銀貨を持って来ると、イエスは、「これは、だれの肖像と銘か」と言われた。彼らは、「皇帝のものです」と言った。すると、イエスは言われた。「では、皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい。」

朗読解説 一主任司祭より皆様へ一

今年の10月の気温の変化は大きいですね。汗ばむ日もあれば寒く感じられる日もあります。今日はこの季節一番の冷え込みだそうです。冷えて体調を崩さないようにしたいですね。さて今日は「世界宣教の日」と定められていて、自分の国を出て世界各地に宣教に出かけている人のために祈り、支援をする日になります。イエスさまがご自分の弟子を宣教に遣わしたことを思い起こし、私たちも神の国を広める活動に参加しましょう。実際に宣教することのほかに、祈りをもって宣教することができます。リジューの幼いイエスの聖テレジアはカルメル会の修道院から一步も出ることなく、宣教師たちの保護者に選ばれました。宣教するということは心の持ち方なのです。

第一朗読 (イザヤの預言 45章 1、4-6節)

ここではキュロスという一人の王の名前がでてきます。当時のバビロン国を滅ぼして、征服した民族の宗教的自由を認め、バビロン捕囚の状態にあったユダヤ人たちにエルサレム帰還を許し、神殿の再建をもゆるし支援したペルシャの王です。こうして神はご自分の民を一人の王の力を使って救われたのです。主なる神は王の王であり、「私は主、ほかにはいない」と言われている通りです。神はあらゆるものをお使いになり、神の民を導かれるのです。

答唱詩編 (詩編 96 3-13節)

この言葉が実現するように、私たちも神の国の到来を告げ知らせましょう。

第二朗読 (使徒パウロのテサロニケの教会への手紙 1章 1-5b節)

このテサロニケの教会への手紙は新約聖書の中で最も古いものと言われています。ということは、使徒パウロの初期の活動を反映しているものと言えます。このテサロニケ教会はパウロが創設したものと言われています。この教会の信徒が神の教会として立派に活動していることに感謝しているようです。

「私たちの福音があなたがたに伝えられたのは、ただ言葉だけによらず、力と、聖霊と、強い確信とによったからです」と述べています。私たちの活動を支えてくださるのは神なる聖霊なのです。

福音朗読 (マタイによる福音書 22章 15-21節)

「皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい」という有名な言葉がでできます。物の正しい扱い方、人のものを搾取するな、不公平な取り決め、独り占め、立場、力を利用した搾取、ハラスメントを戒めているとも解釈されます。現代、自然環境が一部の力ある人たちによってゆがめられ、食物や資源が乱用されています。また、科学の力の悪用によって自然のバランスが崩され、人間の倫理を超えた支配が画策されています。私たち一人一人は神の似姿に創造され、神の印が刻まれていることを忘れないようにしましょう。



私たち一人一人に神の銘が刻まれている (長崎浦上教会の被爆像 2022年)

P.S.

来週はバザーの日です。皆で力を合わせて楽しみながら頑張りましょう。

カトリック足立教会
主任司祭 野口重光